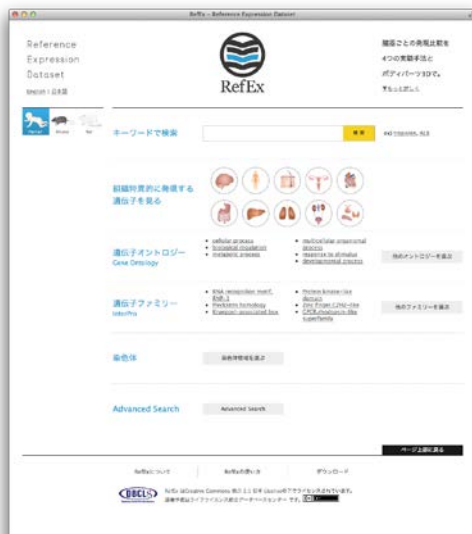


RefEx

(<http://refex.dbcls.jp/>)



○ RefEx とは

RefEx (Reference Expression dataset) は、ヒトおよびマウス、ラットにおける遺伝子発現データのリファレンスデータセットです。



○ RefEx の特徴

- ・ 正常組織・臓器の遺伝子発現状況をひと目で
4つの異なる実験手法によって得られた40種類の正常組織・臓器における遺伝子発現データを並列に表現することで、手法間の比較とともに各遺伝子の発現量を直感的に比較することができます。
- ・ 調べたい遺伝子をより探しやすくよりわかりやすく
キーワード・遺伝子名検索では逐次的に検索語候補が提示されます。また、『転写因子』などのあるカテゴリーに属した遺伝子群について検索できます。さらに、『組織特異的遺伝子』を一覧できます。
- ・ 直感的な可視化で新たな知識発見・仮説構築を
人体3Dモデルに発現量を反映させたヒートマップを表示しており、これによって臓器・組織間における遺伝子発現の差異をより直感的に理解することができます。
- ・ 再利用可能で有用なパブリックデータの活用例
RefExで使用しているデータは公的データベースの中から、正常組織・臓器における遺伝子発現データの基準とするにふさわしいデータセットを、測定サンプルの広範さを基準に選び出し、クオリティチェックを行い、互いに比較できるように整理しなおしたものです。さらに、RefExが提供するすべてのデータもまた、クリエイティブ・コモンズ (CC) ライセンス (© DBCLS Licensed under CC 表示 2.1 日本)のもとで、自由にダウンロードおよび再利用することができます。

○ 利用例

- ・ 体の各組織、臓器における遺伝子の発現状況を調べる。
- ・ 組織特異的遺伝子を検索する。
- ・ 測定機器別の発現量の差異を比較する。

○ ご質問やご意見はこちらまで

info@dbcls.rois.ac.jp

(2013年11月現在 ver.3)

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学工学部 12号館 TEL: 03-5841-6754(代表) FAX: 03-5841-8090(代表)

本サービスは、文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」の成果をもとに、JST ライフサイエンスデータベース統合推進事業『基盤技術開発プログラム』として実施しています。